

2

コンペやコンテスト、学会発表等に
チャレンジし、よい成績を挙げています。



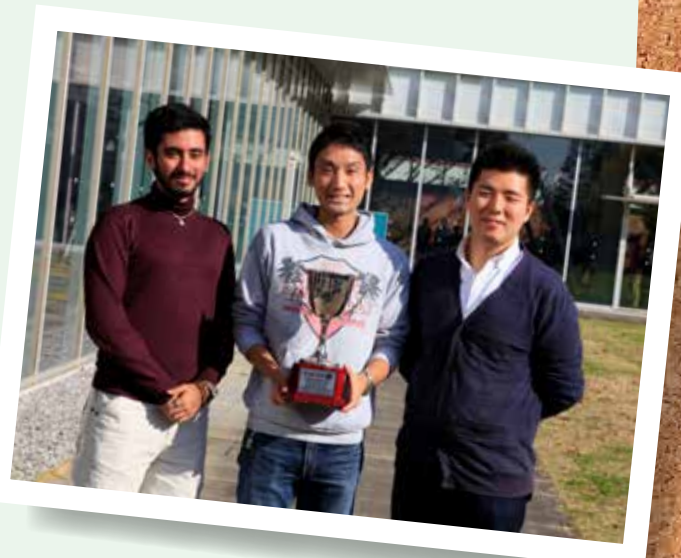
精密機械工学科 2年
小池 魁舟
樋口 由梨奈
佐々木 拓郎

2016年9月、スペースワード財団とミュンヘン工科大学共催による第3回欧州宇宙エレベーターチャレンジで、精密機械工学科のTeam Aoki Lab. Aが総合準優勝しました。この競技会は、次世代の宇宙往還機として期待されている宇宙エレベーターの自律昇降システムを製作し、実際のケーブルテザーを昇降させてその貨物搭載能力と省エネ性能を競い合うものです。このチームは、その昇降性能の高さだけでなく、審査委員特別賞である「スピード賞 (Speed Award)」、「技術賞 (Technology Award)」、「安全設計賞 (Safety Award)」の三賞をすべて受賞し、総合的な設計技術の高さも評価されました。



航空宇宙工学科
4年 百瀬 和彦
3年 山口 光史郎
Bilal Javed Mian Yataco

2016年9月、アメリカのワシントンDCで行われたThe 19th Annual International Mars Society Conventionでの米国火星協会主催の最終プレゼンテーションで、日本大学、慶応大学、東京農工大学の学生で結成したTeam NARABUが、第2位となりました。このコンテストは、2024年までに安く安全でシンプルな有人火星フライバイミッション案を設計・提案することが求められるもので、チームメンバーは、軌道とロケットの選定、ミッションの手順、宇宙機の設計（構造、生命維持、電源系、熱制御系、C&DHと通信系、姿勢制御系、居住部）、ミッション全体のスケジュール、コスト、クルーの選定とアウトリーチ活動を考慮したプランを組み立て、レポートにまとめました。



**航空宇宙工学科
内山研究室**

2016年8月に行われた日本航空宇宙学会主催「第12回全日本学生室内飛行ロボットコンテスト」自動操縦部門で、航空宇宙工学科内山研究室の「Beo」が第2位となり、併せてベストポスター賞を受賞しました。



**海洋建築工学科
4年**
宮嶋 悠輔
濱嶋 杜人
谷 醒龍
門口 稚奈

2016年度日本建築学会設計競技「残余空間に発見する建築」において、海洋建築工学科佐藤研究室のグループ作品「内と外を繋ぐ壁（まちとうみをつなぐみち）」がタジマ奨励賞を受賞しました。



**海洋建築工学科
4年**
蒲生 良輔
小貫 笑美依
福富 大真

ERI学生デザインコンペ2016において、海洋建築工学科佐藤研究室のグループ作品「AKIYA share town」が佳作に選ばれました。



交通システム工学科 4年
大塚 純

環境アセスメント学会第15回研究発表大会で発表した「国道44号を対象としたエゾシカの交通事故対策に関する研究」が優秀ポスター賞を受賞しました。



電気工学科 4年
谷口 宣明

電気学会主催「第7回学生研究発表会」で発表した「高機能デバイスの創生へ向けた磁性流体の数値シミュレーション」が優秀発表賞を受賞しました。



電子工学科 4年
Diana Elizabeth Jimenez Bejarano

平成28年電気学会電子・情報・システム部門大会で発表した「細胞体モデルの確率共鳴現象に対する一検討」で優秀ポスター賞を受賞しました。



電子工学科 4年
上田 拓矢

平成28年電気学会電子・情報・システム部門大会で発表した「カセグレンアンテナを用いた超音波センサの反射波に対する一検討」で優秀ポスター賞を受賞しました。